

認知症ケアパス



～認知症の人と家族を地域・医療・介護で支えます～

認知症ケアパス(care-pathway)とは、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、認知症の進行や状態に応じて受けられる医療・介護・福祉サービスなどを示したものです。

早く気づいて受診することや適切な対応をすることで、その人らしい生活が長く維持できます。

大口町では、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、認知症の人と家族を支えていく仕組みをこの一冊にまとめました。



大口町 健康生きがい課

平成30年3月 作成

目次

○認知症とは	1
○認知症を予防する生活とは	1
○早期診断・早期治療の大切さ	2
○早期発見・早期対応のメリット	3
「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」	4
認知症支援チームがサポートします	5
○認知症の人の様子の変化と家族の心構え	6,7
○認知症の状態に応じて利用できる支援の一覧表	8,9
○生活支援に関する相談はこちらへ	10,11
○医療に関する相談はこちらへ	12,13

○認知症とは

認知症とは、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりすることで、生活するうえで支障が出てくる状態のことをいいます。加齢によるもの忘れや心の病気ではなく、誰にでもおこりうる脳の病気です。

認知症のサイン

- ・季節に合わない服装をしている
- ・ささいなことで怒りっぽくなった
- ・着替えや入浴をしなくなった
- ・身だしなみを気にしなくなった
- ・置き忘れや紛失が多くなった
- ・同じことを何度も言ったり聞いたりする

など

○認知症を予防する生活とは

社会参加と余暇・・・社会参加や余暇活動（旅行や編み物、コンサートなど）、精神活動が活発なほど、認知症発症のリスクが低くなります。

定期的な運動・・・定期的な運動は、認知症の予防に有効です。また、認知症の進行を抑える効果もあります。

活動的な生活・・・活動的なライフスタイルを維持することで老化は予防されます。閉じこもりきり、テレビの前でのウトウトは改めましょう。

○早期診断・早期治療の大切さ



「認知症はどうせ治らない病気だから仕方がない」という人もいますが、早期受診、早期診断、早期治療は非常に重要です。

アルツハイマー型認知症などのように、治療しても完治することが難しい病気の場合でも、適切な治療・内服で症状が改善したり、進行を遅らせたりすることができます。

「認知症かな?」と思ったら、できるだけ早くかかりつけ医や医療機関に相談し、専門家のアドバイスを受けることが大切です。

○どんな病院へかかればいいのか?



認知症の診断は、精神科や神経内科、脳神経外科などの診療科で受けられます。“もの忘れ外来”や“認知症外来”のある医療機関もあるので、本人を連れていくのが難しい場合は、ご家族の方だけでも相談してみましょう。

○受診するときのポイント

認知症の症状の現れ方には、個人差があります。ありのままを伝えるために、日頃からどのような症状が出ているのか、なるべく具体的にメモをとっておきましょう。

○早期発見・早期対応のメリット

①症状が軽い段階から、こころ・身体・生活の準備をすることができます。

ご家族はもちろん、医師や介護スタッフとも相談しながら、認知症の症状に向き合い、日常生活を維持する準備期間が重要です。

②進行や症状を緩やかにする治療薬の効果が期待できます。

薬の服用等を含めて、早い時期からの治療開始が効果的といわれています。

③治療できる認知症やよく似た症状のある病気にも対応できます。

認知症の原因となっている病気が早期に判れば、治療可能な場合もあります。

認知症についての理解を深めておけば、生活上の困りごとを軽減でき、その後のトラブルを減らすことも可能です。症状の軽いうちに後見人を自分で決めておく（任意後見制度）などの準備や手配をしておけば、認知症であっても自分らしい生活を送ることができます。



ご家族の方へ

認知症と診断されても、あわてて騒がないことが第一です。医療機関へ

相談・受診する場合には、ご家族の冷静な判断がとても大切です。

ご本人とご家族の方が穏やかで心地よい生活を送ることを目標に冷静な

対応を心がけましょう。



自分でできる認知症の気づきチェックリスト

このチェックリストは、ご自身の「気づき」のためのものです。

最もあてはまるところに「○」をつけてください。

チェック ①	財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか。	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
チェック ②	5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか。	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
チェック ③	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるとされますか。	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
チェック ④	今日が何月何日かわからないときがありますか。	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
チェック ⑤	言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがありますか。	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
チェック ⑥	貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか。	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
チェック ⑦	一人で買い物に行けますか。	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
チェック ⑧	バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか。	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
チェック ⑨	自分で掃除機やほうきを使って掃除ができますか。	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
チェック ⑩	電話番号を調べて、電話をかけることができますか。	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点

チェックしたら、①から⑩の合計を計算⇒合計点【 】点

20点以上の場合は、認知機能や社会生活に支障が出ている可能性があります。

お近くの医療機関（p.13）または大口町地域包括支援センター（p.10）に相談しましょう。



※このチェックリストの結果は、あくまでもおおよその目安であり、医学的診断に代わるものではありません。
 認知症の判断には医療機関での受診が必要です。
 ※身体機能が低下している場合は、点数が高くなる可能性があります。
 ※ご家族や身近な方がチェックすることもできます。

【出典】『知って安心 認知症』（発行：東京都福祉保健局高齢社会対策部住宅支援課認知症支援係）

認知症は

早期発見・早期対応が大切です！！

地域包括支援センター・健康生きがい課へご相談ください！！

(p.10)

平成 30 年度から

認知症支援チーム



(認知症初期集中支援チーム) がサポートします。

・ 認知症支援チームって？

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、専門職員がご本人やご家族をサポートします。

○具体的には・・・

認知症かも？と思われる方や認知症の症状でお困りの方のご自宅へ訪問し相談に応じ、医療、介護サービスの説明などを行います。



・ 対象は誰？



40歳以上で、自宅で生活をされている以下のような方

- ・ 認知症かなあ？と思われる方で認知症の診断を受けていない。
- ・ 介護保険のサービスを使っていない、または中断している。
- ・ 認知症の症状で対応に困っている。など

どんなことでも
どなたでもご相談ください！！

・ 認知症支援チームに誰がいるの？

認知症のサポート医と保健師・社会福祉士など

(医療・福祉の専門職) で構成しています。




○認知症の人の様子の変化と家族の心構え

認知症の進行と症状には個人差があります。
ご家族や周囲の方が認知症を理解し、進行に応じて上手に対応していくことが大切です。



		気づきの時期 (変化が起きた時)	発症した時期 (日常生活で見守りが必要)
本人の様子	会話など	<ul style="list-style-type: none"> ・約束を忘れることがある ・いつも「あれがない」「これがない」と探している ・趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなる ・不安や焦りがあり、怒りっぽくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や日にちがわからなくなる ・同じことを何度も言ったり聞いたりする
	食事調理	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の内容を忘れることがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事したことを忘れる ・調味料を間違える ・同じ料理が多くなる
	着替え		<ul style="list-style-type: none"> ・同じものばかりを着ている ・ボタンをかけ違える
	お金の管理 買い物	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の管理や書類作成はできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物で小銭が使えない ・町内会費を何度も持ってくる ・通帳などの保管場所がわからなくなる
	服薬 排泄 外出など	<ul style="list-style-type: none"> ・たまに薬の飲み忘れがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出しができなくなる ・回覧板が回せなくなる
本人の思い		<ul style="list-style-type: none"> ・これからどうなるのか不安なとき、周りから「もっとしっかりして」といわれると苦しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・できないことも増えるが、できる ・できないことで一番困ることは新感覚がないこと
家族の心構え		<ul style="list-style-type: none"> ・家族や周りの人の「気づき」がとても大切です ・何か様子がおかしいと思ったら、かかりつけ医や地域包括支援センターなどに相談しましょう(連絡先：p.10) ・認知症サポーター養成講座などで、認知症に関する正しい知識や理解を深めておきましょう ・本人の不安に共感しながらさりげなく手助けしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・できないことや間違いがあってもしましょう ・火の不始末や道に迷うなどの事故 ・一人で悩みを抱え込まず身近な人 ・今後の生活設計について話し合っ ・同じ介護を体験する家族の集いに

認知症と診断されても、あわてて騒がないことが第一です。
 本人も戸惑い、混乱しています。
 ゆっくりと温かく見守ることで、穏やかに過ごすことが可能です。

 症状が多発する時期 (日常生活に手助け・介護が必要)	身体面の障害が複合する時期 (常に介護が必要)	 終末期
<ul style="list-style-type: none"> 電話の対応や訪問者の対応が1人では難しくなる 文字が上手に書けなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 質問に答えられない 会話が成立しなくなる 家族の顔や名前がわからなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 表情が乏しくなる
<ul style="list-style-type: none"> 電子レンジが使えなくなる 鍋を焦がすことが多くなる 同じ食材を買い込む 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物でないものを口に入れる 	<ul style="list-style-type: none"> 食事介助が必要となる 飲み込みが悪くなり、肺炎を起こしやすい
<ul style="list-style-type: none"> 入浴をいやがる 服が選べない 	<ul style="list-style-type: none"> 着替えができなくなる 季節や場所に合わない服装をする 	
<ul style="list-style-type: none"> 同じものばかり買う 財布や通帳を盗られたなどの妄想がある 		
<ul style="list-style-type: none"> 薬の飲み忘れが目立つ 失禁で汚れた下着を隠す たびたび道に迷う 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がいる場所がわからなくなり家に戻れなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 間に合わず汚すことが多くなるため、尿や便の失敗が増える。 寝たきりになる
<p>こともたくさんあることを知ってほしい しい場所に一人では行けないことと時間の</p>		<ul style="list-style-type: none"> 症状がかなり進んでも何もわからない人と考えないで! 言葉で自分の状態を表現できなくても顔や表情から、快・不快をくみとってほしい
<p>責めたり否定したりしないように に備えて安全対策を考えておきましょう に理解してもらいましょう ておきましょう も参加するとよいでしょう</p>		<ul style="list-style-type: none"> 食事、排泄、清潔などの支援が必要になり、合併症が起きやすいことを理解しましょう どのような終末期を迎えるか家族間でよく話し合っておきましょう 一人で介護を抱え込まないように介護サービスや医療サービスを活用しましょう

○認知症の状態に応じて利用できる支援の

町では、認知症の方や介護するご家族などを支援する体制の充実を推進しています。
認知症の状態に応じて、介護保険サービスや高齢者福祉サービス、その他の支援を上手に利用しましょう。

	気づきの時期 (変化が起き始めたとき)	発症した時期 (日常生活で見守りが必要)
<p>すぐに病院は抵抗が・・・</p> <p>相談</p>	地域包括支援センター・大口町健康生きがい課・	
<p>外出の機会を増やして予防したい。</p> <p>予防</p>	健康づくり事業・介護予防教室（体カアップ教室・脳カアップ教室） 老人クラブ・地域ふれあいサロン いきいき100歳体操・元気体操・しなやかお達者教室・ひだまりの会	
<p>かかりつけのお医者さんに聞いてみたい。</p> <p>医療</p>	かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局・	
<p>介護</p>		
<p>相談先や制度を知りたい・利用したい。</p> <p>生活支援</p>	 認知症カフェ（※①） 日常生活自立支援事業	
<p>施設入所を考えたい。</p> <p>住まい</p>	自宅・公営住宅・民間住宅	

※①認知症カフェ 介護や認知症のことを気軽に相談できます。

オレンジカフェ・大口


日時：毎月第3木曜日 13：30～15：00

場所：大口町生きがい活動支援センター（大口町伝右一丁目47番地）

問い合わせ先：大口町社会福祉協議会 ☎ 94-0060

一覧表

認知症の介護は、介護する人がストレスをためないことが大切です。1人で抱え込まず、手助けしてくれる人とつながりましょう。

症状が多発する時期 (日常生活に手助け・ 介助が必要)	身体面の障害が複合する時期 (常に介護が必要)	終末期
認知症疾患医療センター（医療相談室）・ケアマネジャー・各種電話相談（p.10,11）		
		
認知症サポート医・認知症疾患医療センター・もの忘れ外来 訪問看護・精神科（外来・急性期増悪期の一時入院）		
介護サービス（デイサービス・通所リハビリ・訪問介護・訪問看護・ショートステイ）		
緊急通報システム・配食サービス・在宅生活支援費支給 <small>紙おむつ等購入経費の助成・デイサービスや通所リハビリ利用時の食事の助成・タクシー利用助成券・グループホーム家賃等助成</small>		
民生児童委員・高齢者福祉協力員・老人クラブ・認知症サポーター		
・家族介護者交流会・慰労会・寝具洗濯乾燥消毒		
成年後見制度		
・有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅		
グループホーム・老人保健施設		
		特別養護老人ホーム

あかり何でも相談デイ

日時：毎月第2火曜日 10：00～12：00

場所：大口ケアセンターあかり（大口町下小口二丁目1 1 1 番地1）

問い合わせ先：大口ケアセンターあかり ☎ 96-2002

○日常生活や在宅介護など、 生活支援に関する相談はこちらへ

①大口町 地域包括支援センター ☎94-2227
メールアドレス: hokatsu@oguchi.or.jp

“みんな元気！ いつまでも自分らしく暮らせる支え合いのまち大口”を目指します。高齢者や障がい者が地域の中で、心身共に健康で自立した生活を送るために、専門家が各種相談に応じます。

○主な事業

- ・総合相談・・・高齢者やご家族の健康・介護等の各種相談に、専門の職員が総合的に応じ、支援します。
- ・高齢者権利擁護・介護予防ケアマネジメント・障がい者(児)相談支援・包括的、継続的支援

【場所】大口町下小口七丁目 21 番地
(社会福祉法人おおぐち福社会敷地
内・大口中学校東側)

【相談日時】

月～金曜日…8:30～17:15

土曜日…8:30～12:30

(祝日、年末年始は除く)





②大口町 健康生きがい課

☎94-0051

介護保険や高齢者福祉の担当窓口です。認知症や介護の相談、高齢者の心配ごとについては、こちらへどうぞ。

【場所】大口町伝右一丁目 35 番地（ほほえみプラザ 1 階）

【相談日時】月～金曜日…8：30～17：15（祝日、年末年始は除く）

③愛知県 認知症電話相談（認知症の人と家族の会 愛知県支部）

☎0562-31-1911

認知症の方の介護の方法や対応の工夫、悩みなどについて、認知症についての知識、介護経験をもつ担当者が応対します。

【相談日時】月～金曜日…10：00～16：00（祝日、年末年始は除く）

④若年性認知症コールセンター（社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター）

☎0800-100-2707

専門的教育を受けた相談員が、誰もが気軽に相談できるコールセンターを目指して、一人ひとりの状態に応じた支援を行います。

【相談日時】月～土曜日…10：00～15：00（祝日、年末年始は除く）

○受診や診断・治療薬など、 医療に関する相談はこちらへ



①かかりつけ医・認知症サポート医・専門医療機関

愛知県で実施している認知症に関する知識や技術を習得するための研修（認知症対応力向上研修等）を修了した医師がいる医療機関やもの忘れ外来、精神科・神経内科などの診療科をかかっている医療機関です。

国立長寿医療研究センター

大府市森岡町 7-430

☎0562-46-2311

愛知県医師会

名古屋市中区栄 4-14-28

☎052-241-4163

・認知症の相談ができる町内医療機関：右ページ

②認知症疾患医療センター

認知症の専門医療相談、診断、身体合併症と行動・心理症状（BPSD）への対応、地域連携の推進などを実施している医療機関です。

社会医療法人杏嶺会 いまいせ心療センター

一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原30 ☎0586-80-0647

医療法人晴和会 あさひが丘ホスピタル

春日井市神屋町1295-31

☎0568-88-0959



大口町内医療機関

今井 医院	☎ 95-2534	大口町中小口一丁目19番地						
	休診日 木PM/土PM/日/祝	診療時間	月	火	水	木	金	土
		7:30~12:00	○	○	○	○	○	○
17:00~19:30	○	○	○	—	○	—		

さのクリニック	☎ 94-0222	大口町奈良子一丁目269番地						
	休診日 木PM/土PM/日/祝	診療時間	月	火	水	木	金	土
		9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	○	—	○	—		

すずいクリニック	☎ 96-1114	大口町余野三丁目421番地						
	休診日 木/土PM/日/祝	診療時間	月	火	水	木	金	土
		8:45~12:15	○	○	○	—	○	○
16:20~19:30	○	○	○	—	○	—		

やまだクリニック	☎ 94-1333	大口町秋田一丁目376番地						
	休診日 日/祝	診療時間	月	火	水	木	金	土
		9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
15:00~18:00	○	○	○	○	○	○		

みどりクリニック	☎ 95-0881	大口町丸二丁目71番地						
	休診日 水PM/土PM/日/祝	診療時間	月	火	水	木	金	土
		9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	—	○	○	—		

つくしファミリー クリニック	☎ 94-0294	大口町余野五丁目292番地						
	休診日 水/土PM/日/祝	診療時間	月	火	水	木	金	土
		9:00~12:00	○	○	—	○	○	○
16:00~19:00	○	○	—	○	○	—		

山田外科内科	☎ 96-6000	大口町竹田二丁目38番地						
	休診日 水PM/土PM/日/祝	診療時間	月	火	水	木	金	土
		9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~18:00	○	○	—	○	○	—		

----- 総合病院 -----

さくら総合病院	☎ 95-6711	大口町新宮一丁目129番地						
	※診療時間は、診療科目によって異なります。	診療時間	月	火	水	木	金	土
		9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
17:00~19:30	○	○	○	○	○	—		



日常生活や在宅介護など、

生活支援に関する相談はこちらまで



大口町地域包括支援センター ☎94-2227